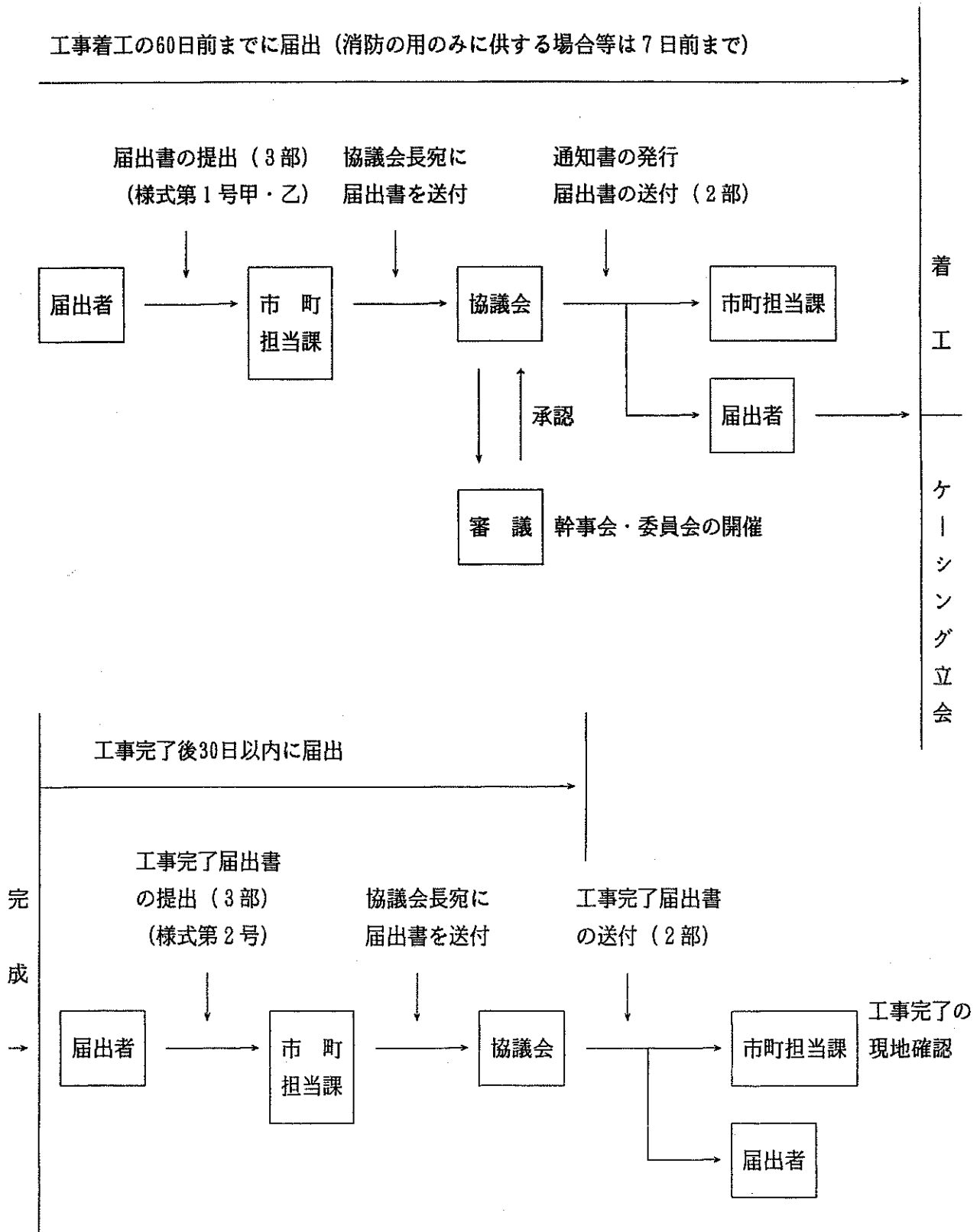
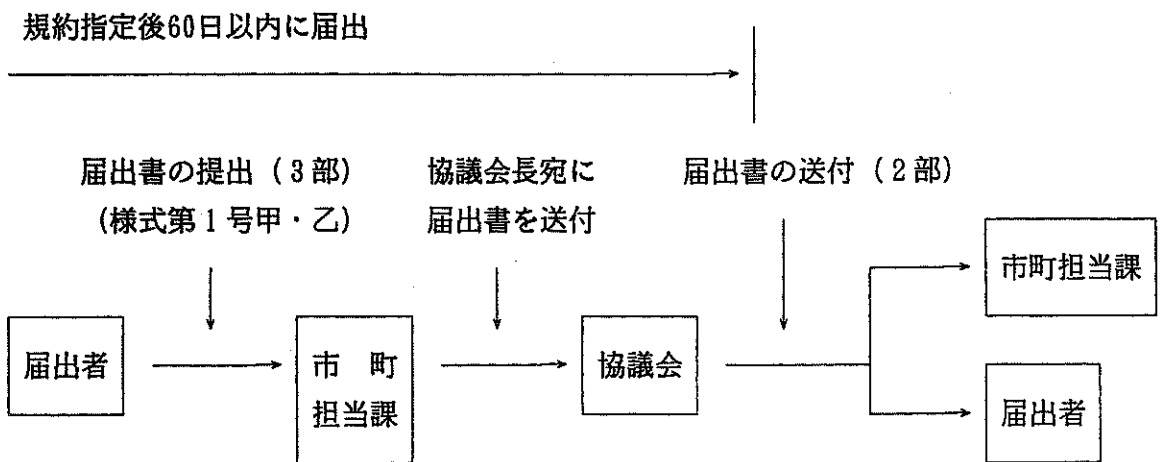


I 井戸届出事務の流れ

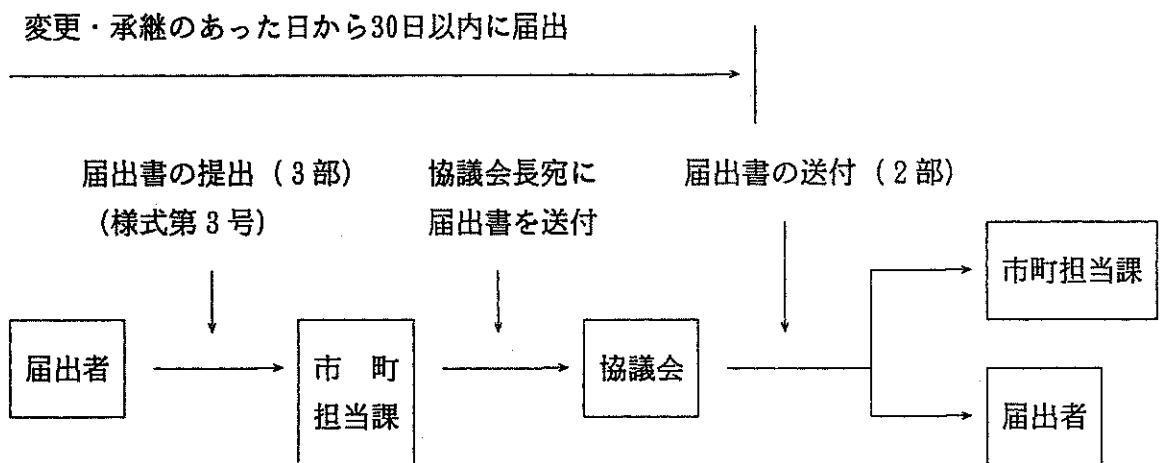
1. 揚水設備の新設・代替・変更の届出（規約第10条1項）及び工事完了の届出（規約第10条3項）



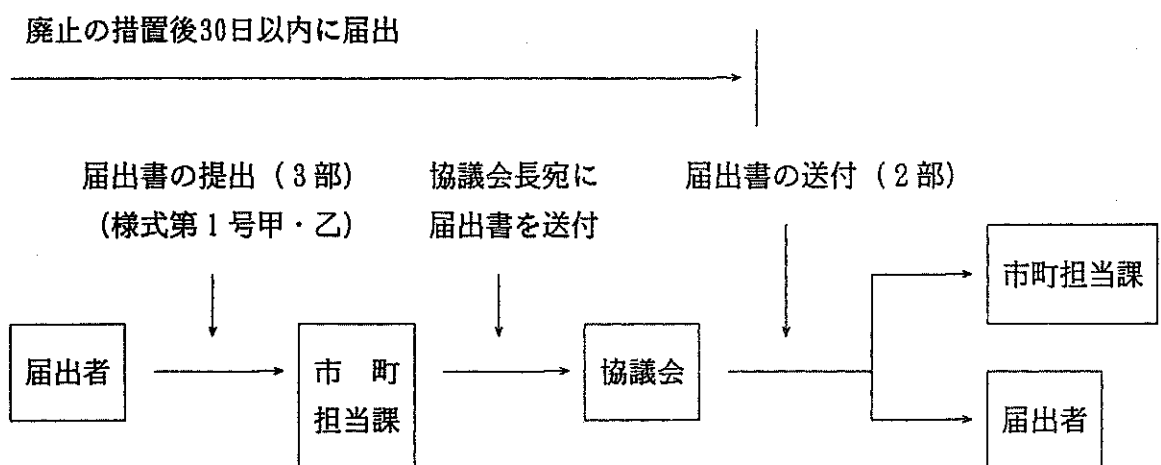
2. 既設揚水設備の届出 (規約第10条 2項)



3. 氏名等の変更届出 (規約第10条 4項) (承継を含む)



4. 廃止の届出 (規約第10条 5項)



II 届出の様式・添付資料等

1 揚水設備の新設・代替・変更・既設の届出

ア 様式

様式第1号 甲 井戸届出書 —— 記入方法P15参照

様式第1号 乙 井戸届出書 —— 記入方法P17参照

イ 添付資料

(共通資料)

- (1) 揚水設備設置の理由
- (2) 揚水設備の設置場所を示す図面(案内図)：縮尺5万分の1、2万5千分の1
- (3) 揚水設備相互間の距離を示す図面
設備する揚水設備を中心として半径300mの円を描き、設置する揚水設備は赤点で、周辺の既設井戸は青点で表示して、揚水設備の番号を記入する。縮尺は2千分の1～5千分の1。
- (4) 事業場内における揚水設備の配置図
事業場等の敷地内の建物並びに揚水設備の配置及び配管を記入する。
縮尺は事業場等の敷地内の状況が十分確認できる程度とし、図面に明示する。
なお、代替の場合は100m以内であるか確認できるように距離を明示する。
- (5) 地下水等の使用計画書(P29参照)
- (6) 水利用フローシート(P30参照)
地下水及び上水道等の水の使用箇所及び使用量並びに温度変化を記入する。
- (7) 地下水使用量の詳細計算書
水利用フローシートに記入した数値の裏付け計算を行う。
- (8) ポンプ性能曲線
- (9) 揚程計算書
- (10) 水道認可書の写し(水道施設等の場合)

(代替に係る資料)

- (1) 同意書
揚水設備相互間の距離の基準内に既設井戸がある場合、所有者の同意を得る。

ウ その他

- (1) 水利用の合理化、回収水の利用、上水道、工業用水道への転換、地下水涵養の取り組み等必要に応じて添付する。

2 ポンプ口径決定協議書の届出

次の項目に該当する場合は、ポンプ設置前に揚水試験を実施後、ポンプ口径決定協議書を協議会長に提出し、協議会長の回答を受けたのち揚水機を設置するものとする。

ア 対象設備

- (1) 取水基準の適用除外の対象となる、水道事業などに供する揚水設備で、ポンプの口径が80mmを超えるもの。
- (2) その他、地下水障害の防止を図るため、特に指定する揚水設備。

イ 様式

ポンプ口径決定協議書 ———— 記入方法P 27 参照

ウ 添付資料

- (1) ストレーナーの位置、揚水試験の結果に基づく、限界揚水量と安全揚水量の算出結果、水質試験結果等、総合的な解説。
- (2) 揚水試験結果（段階、連続及び回復試験）
- (3) 地質柱状図及び電気検層図
- (4) 水質試験の結果（塩素イオン濃度及びpH値等）
- (5) ポンプ仕様書等（ポンプ仕様書、ポンプ性能曲線図、ポンプ据付図）

3 井戸工事完了の届出

ア 様式

様式第2号 井戸工事完了届出書 ———— 記入方法P 23 参照

様式第1号 乙 井戸届出書 ———— 記入方法P 17 参照

イ 添付資料

- (1) ストレーナーの位置、揚水試験の結果に基づく、限界揚水量と安全揚水量の算出結果、水質試験結果等、総合的な解説。
- (2) 揚水試験結果（段階、連続及び回復試験）
- (3) 地質柱状図及び電気検層図
- (4) 水質試験の結果（塩素イオン濃度及びpH値等）
- (5) 工事着手から完了までの作業中の写真。
(井戸の側管とポンプの口径が確認出来るもの。)
- (6) 量水器設置の確認が出来る写真。

4 名称・住所等の変更及び承継の届出

届出者（事業所等）の名称、住所、住居表示、代表者の氏名の変更等が生じた場合、提出すること。また、土地の売買、譲渡等による井戸を承継した場合、土地を借地して、井戸を使用する場合にも、届出書を提出すること。

ア 様式

様式第3号 氏名等変更届出書 ———— 記入方法P 25 参照

5 揚水設備の休止及び停止の届出

揚水ポンプの撤去、電源の撤去等を行い、揚水量が0の場合、防災用の揚水設備で通常り揚水量が0の場合、休止届を提出すること。

他の揚水設備の予備設備や意図的な目的で通常の揚水量が0の設備の場合、停止届を提出すること。また、複数の揚水設備で停止を周期的に変えているような場合の、新たな変更届は特に必要はない。

ア 様式

様式第1号 甲・乙 井戸届出書 —— 記入方法は変更届と同様

6 休止揚水設備の再使用の届出

ア 再使用の条件

- (1) 年間平均日採取量は、休止前の届出量以下とする。
- (2) 揚水機の能力は、休止前の届出量以下とする。
- (3) ポンプの口径は、休止前の届出量以下とする。
- (4) 量水器未設置の場合は、量水器を設置する。
- (5) 塩水化地域内（塩素イオン濃度200mg/ℓ以上）での再使用は認めない。
- (6) 取水基準を超えて採取する場合は、揚水試験を実施する。
- (7) 既設設備の届出時点において既に休止の場合は、ポンプの性能、周囲への影響等を検討して、年間平均日採取量等を調整する。

イ 様式

様式第1号 甲・乙 井戸届出書 —— 記入方法は変更届と同様。

ウ 添付書類

変更届と同様。

7 揚水設備の廃止の届出

ア 様式

様式第1号 甲乙 井戸届出書 —— 記入方法は新設届参照

イ 添付書類

- (1) 事業場等敷地内における、廃止する揚水設備の配置図
縮尺は5百分の1～5千分の1
- (2) 揚水設備の廃止した状況がわかる写真（揚水機や側管の撤去や埋め戻し等）

Ⅲ 届出書等記入方法

1 様式第1号 甲「井戸届出書」の記入方法

項 目	記 入 方 法
年 月 日	届出の年月を記入する。日は市町担当課が記入する。
届出者の住所・氏名	届出者の住所と氏名を記入する。 法人等の場合は、その名称及び代表者の氏名を記入する。 届出者名印を押印する。
1 受理年月日 ※	※欄は記入しない。
2 工場又は事業所の名称	揚水設備を所有または借地等で使用している、あるいはこれから新設する工場又は事業所の名称を記入する。
3 工場又は事業所の所在地	揚水設備を所有または借地等で使用している、あるいはこれから新設する工場又は事業所の所在地を記入する。
4 井戸管理責任者	揚水設備の直接の管理責任者の部署名と氏名を記入する。
5 電 話 番 号	個人・工場又は事業所等の電話番号を記入する。

記 入 例

井 戸 届 出 書

平成〇年 〇月 日

黄瀬川地域地下水利用対策協議会長 様

届出者住所 沼津市御幸町 16-1
 株式会社 環境保全
 氏名 代表取締役 黄瀬川 太郎 印

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

井戸の設置等について、黄瀬川地域地下水利用対策協議会規約第10条
 第1項(第2項・第5項)の規定により、次のとおり届け出ます。

		1. 受 理 年 月 日 ※	記 入 し ない 日 年 月 日
2. 工 場 又 は 事 業 所 の 名 称	(株)環境保全 沼津工場		
3. 工 場 又 は 事 業 所 の 所 在 地	沼津市 御幸町 16番地 / 郡		
4. 井戸管理責任者 工場長 沼津 一郎	5. 電 話 番 号	0559-31-2500	

2 様式第1号 乙「井戸届出書」の記入方法

項 目		記 入 方 法
6	井戸の所在地	様式第1号 甲 の工場又は事業所の所在地を記入する。
7	整理番号 ※	※欄は記入しない。
8	井戸の番号	所在地が1箇所なら1号、2号、3号・・・ 所在地が複数箇所なら大字の後に番号をつける。 例えば本町1号、本町2号、大手町1号、大手町2号等。
9	新設・変更・既設の別	届出内容に応じて、揚水設備の新設・代替・変更・既設の区分を記入する。
10 井 戸	ア 地表面からの深さ	地表面から側管の底までの深さをm単位で記入する。
	イ 地表面からの ストレーナー の 位 置	地表面からストレーナーの上端と下端までの深さを 0.5m単位で 記入する。(例：80～96.5m) ストレーナーが複数ある場合はそれぞれ記入する。
	ウ 口 径	側管の口径をmm単位で記入する。(mm未満切捨)
11 揚 水 機 の 構 造	エ 種 類	設置する揚水機の種類を記入する。 種類：水中モーターポンプ、渦巻きポンプ、タービンポンプ等
	オ 製 造 会 社 名	揚水機の製造会社名を記入する。
	カ 能 力	揚水機の毎分当たりの揚水能力をm ³ /分単位で記入する。 (少数点以下2位まで)
	キ 揚 程	全揚程をm単位で記入する。(m未満切捨)
	ク 原 動 機 の 出 力	モーターまたは発動機の出力をkw単位で記入する。 (少数点以下1位まで)
	ケ 吐 出 口 の 口 径	吐出口の口径をmm単位で記入する。 吐出口が複数ある場合はそれぞれ記入する。

項 目		記 入 方 法
11	コ 吐出口の断面積	吐出口の断面積を cm^2 (cm^2 未満四捨五入) 単位で記入する。 換算：50mm→22 cm^2 、65mm→37 cm^2 、80mm→52 cm^2 、100mm→79 cm^2 、 125mm → 123 cm^2 、150mm → 177 cm^2 、200mm → 314 cm^2
12	サ 採取期間	揚水機を使用する期間を月で記入する。
	シ 最大採取量	年間（1月1日から12月31日までの期間をいう。）を通じて最大の1日あたりの採取量を $\text{m}^3/\text{日}$ 単位で記入する。（ m^3 未満切捨）
	ス 平均採取量	年間平均の採取量を $\text{m}^3/\text{日}$ 単位で記入する。（ m^3 未満切捨）
	セ 平均採取時間	○時から△時までの間に年間平均の採取時間を記入する。 24時間稼働している場合は0時～24時と記入する。 平均採取量を揚水機の能力で除した時間を平均採取時間とする。 例：平均採取量 500 $\text{m}^3/\text{日}$ 、揚水機の能力 0.7 $\text{m}^3/\text{分}$ の場合 500/(0.7×60) ≒11.9時間（少数第2位を四捨五入）
13	着工（予定）年月日	新設・代替又は変更工事に着手する年月日を記入する。 規約第10条1項で、着手する年月日の60日以前に、井戸の届出、 審議を受ける必要があるので、月日に余裕を持たせること。 既設の場合は記入不用。
14	使用開始年月日	新設・代替又は変更の際、使用を開始する年月日を記入する。 既設の場合は使用を開始した年月日を記入する。
15	用途及び使用量	新設の場合は揚水設備が完成する年度を記入する。 代替・変更の場合は変更前と変更後の2年分を記入する。 生活用・工業用・建物用・農業用・養魚用及びその他用の区分を 記入する。 使用量は地下水の他、回収水等の合計を記入後、回収水等を差引 して求める。複数の揚水設備を設置している場合、その揚水設備 にかかる年間平均採取量の合計が使用量と一致する。

変更の場合は、変更前を赤字で、変更後を黒字で記入すること。

新設の記入例

6	井戸の所在地	沼津市御時町 郡 16-1 番地	市 郡 番地	市 郡 番地	市 郡 番地	市 郡 番地
7	整理番号*	記入しない				
8	井戸の番号	1号				
9	新設・変更・既設の別	新設				
10	ア 地表面からの深さ	120 m	m	m	m	m
	イ 地表面からのストレーナーの位置	100m~120m	m~ m	m~ m	m~ m	m~ m
	ウ 口径	200 mm	mm	mm	mm	mm
11	エ 種類	水中モーターポンプ				
	オ 製造会社名	〇〇〇				
	カ 能力	0.65 m ³ /分	m ³ /分	m ³ /分	m ³ /分	m ³ /分
	キ 揚程	50 m	m	m	m	m
	ク 原動機の出力	11.0 KW	KW	KW	KW	KW
	ケ 吐出口の口径	80 mm	mm	mm	mm	mm
	コ 吐出口の断面積	50 cm ²	cm ²	cm ²	cm ²	cm ²
12	サ 採取期間	1月~12月	月~ 月	月~ 月	月~ 月	月~ 月
	シ 最大採取量	624 m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日
	ス 平均採取量	312 m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日
	セ 平均採取時間	6時~22時 8 時間	時~ 時 時間	時~ 時 時間	時~ 時 時間	時~ 時 時間
13	着工(予定)年月日	7年/月20日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
14	使用開始(予定)年月日	7年5月10日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
15	用途及び使用量	7 年度	年度	年度	年度	年度
		注 生活用水 ア 生活用水 312 m ³ /日 イ その他用水 m ³ /日 計 312 m ³ /日 上記のうち 回収水 0 (m ³ /日) 差引 312 m ³ /日	用水 m ³ /日 ア 用水 m ³ /日 イ その他用水 m ³ /日 計 m ³ /日 上記のうち 回収水 (m ³ /日) 差引	用水 m ³ /日 ア 用水 m ³ /日 イ その他用水 m ³ /日 計 m ³ /日 上記のうち 回収水 (m ³ /日) 差引	用水 m ³ /日 ア 用水 m ³ /日 イ その他用水 m ³ /日 計 m ³ /日 上記のうち 回収水 (m ³ /日) 差引	

- 備考
- 1 井戸の位置を示す図面(縮尺を明示すること)を添付すること。
 - 2 緊急の場合(消防の用にのみ供する場合、又は災害の発生等により必要となった場合)はその理由書を添付すること。
 - 3 変更の場合は、変更前を赤字、変更後を黒字で記入すること。
 - 4 *印欄は、記入しないこと。

代替の場合

代替前 代替後

6	井戸の所在地	三島市北田町 郡 4-47番地	三島市北田町 郡 4-47番地	市 町 郡 番地	市 町 郡 番地	市 町 郡 番地
7	整理番号*	記入しない	記入しない			
8	井戸の番号	1号	2号			
9	新設・変更・既設 の別	既設	代替			
10	ア 地表面からの 深さ	50 m	100 m	m	m	m
	イ 地表面からの ストレーナー の位置	30m~50m	70m~90m	m~ m	m~ m	m~ m
	ウ 口 径	300 mm	250 mm	mm	mm	mm
11 揚 水 機 の 構 造	エ 種 類	渦巻きポンプ	水中E-9ポンプ			
	オ 製造会社名	〇〇〇	△△△			
	カ 能 力	2.0 m ³ /分	1.25 m ³ /分	m ³ /分	m ³ /分	m ³ /分
	キ 揚 程	13 m	37 m	m	m	m
	ク 原動機の出 力	7.5 KW	15.0 KW	KW	KW	KW
	ケ 吐出口の口 径	125 mm	100 mm	mm	mm	mm
	コ 吐出口の断 面積	123 cm ²	79 cm ²	cm ²	cm ²	cm ²
12 採 取 量	サ 採 取 期 間	1月~12月	1月~12月	月~ 月	月~ 月	月~ 月
	シ 最大採取量	1,440 m ³ /日	1,125 m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日
	ス 平均採取量	960 m ³ /日	750 m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日
	セ 平均採取時 間	0時~24時 8 時間	0時~24時 10 時間	時~ 時 時間	時~ 時 時間	時~ 時 時間
13	着工(予定)年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
14	使用開始(予定) 年月日	34年5月6日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
15	用途及び使用量	6 年度	7 年度	年度		
		建物用水 ア建物用水 960 m ³ /日 イその他用水 m ³ /日 計 960 m ³ /日 上記のうち 回収水 0 (m ³ /日) 差引 960 m ³ /日	建物用水 ア建物用水 960 m ³ /日 イその他用水 m ³ /日 計 960 m ³ /日 上記のうち 回収水 210 (m ³ /日) 差引 750 m ³ /日	用水 ア 用水 m ³ /日 イその他用水 m ³ /日 計 m ³ /日 上記のうち 回収水 (m ³ /日) 差引		

- 備 考
- 1 井戸の位置を示す図面(縮尺を明示すること)を添付すること。
 - 2 緊急の場合(消防の用のみに供する場合、又は災害の発生等により必要となった場合)はその理由書を添付すること。
 - 3 変更の場合は、変更前を赤字、変更後を黒字で記入すること。
 - 4 *印欄は、記入しないこと。

変更の場合

変更前 変更後

6	井戸の所在地	駿東郡長泉町中土狩828番地	駿東郡長泉町中土狩828番地	駿東郡長泉町中土狩828番地	駿東郡長泉町中土狩828番地	市郡番地
7	整理番号*	記入しない	記入しない	記入しない	記入しない	
8	井戸の番号	1号	2号	1号	2号	
9	新設・変更・既設の別	既設	既設	変更	変更	
10	ア 地表面からの深さ	80 m	100 m	80 m	100 m	m
	イ 地表面からのストレーナーの位置	60m~80m	60~76.5m~89~100	60m~80m	60~76.5m~89~100	m~m
	ウ 口径	200 mm	200 mm	200 mm	200 mm	mm
11	エ 種類	水中モータポンプ	水中モータポンプ	水中モータポンプ	水中モータポンプ	
	オ 製造会社名	赤字 〇〇〇	△△△	□□□	△△△	
	カ 能力	赤字 0.65 m ³ /分	0.65 m ³ /分	0.4 m ³ /分	0.63 m ³ /分	m ³ /分
	キ 揚程	赤字 44 m	51 m	40 m	51 m	m
	ク 原動機の出力	赤字 11.0 KW	11.0 KW	5.5 KW	11.0 KW	KW
	ケ 吐出口の口径	赤字 80 mm	80 mm	65 mm	80 mm	mm
	コ 吐出口の断面積	赤字 50 cm ²	50 cm ²	33 cm ²	50 cm ²	cm ²
12	サ 採取期間	1月~12月	1月~12月	1月~12月	1月~12月	月~月
	シ 最大採取量	312 m ³ /日	624 m ³ /日	312 m ³ /日	624 m ³ /日	m ³ /日
	ス 平均採取量	赤字 312 m ³ /日	赤字 390 m ³ /日	240 m ³ /日	462 m ³ /日	m ³ /日
	セ 平均採取時間	0時~24時 赤字 8 時間	0時~24時 赤字 10 時間	0時~24時 10 時間	0時~24時 11.8 時間	時~時 時間
13	着工(予定)年月日	年 月 日	年 月 日	H7年3月20日	年 月 日	年 月 日
14	使用開始(予定)年月日	45年6月7日	56年7月8日	H7年4月10日	56年7月8日	年 月 日
15	用途及び使用量	6 年度	7 年度	年度		
		工業用水 ア工業用水1,202m ³ /日 イその他用水 m ³ /日 計 1,202m ³ /日 上記のうち 回収水500(m ³ /日) 差引 702 m ³ /日	工業用水 ア工業用水1,202m ³ /日 イその他用水 m ³ /日 計 1,202m ³ /日 上記のうち 回収水500(m ³ /日) 差引 702 m ³ /日	用水 ア 用水 m ³ /日 イその他用水 m ³ /日 計 m ³ /日 上記のうち 回収水 (m ³ /日) 差引		

- 備考
- 1 井戸の位置を示す図面(縮尺を明示すること)を添付すること。
 - 2 緊急の場合(消防の用のみに供する場合、又は災害の発生等により必要となった場合)はその理由書を添付すること。
 - 3 変更の場合は、変更前を赤字、変更後を黒字で記入すること。
 - 4 *印欄は、記入しないこと。

休止・停止の場合

6	井戸の所在地	駿東郡清水町 堂庭 210-1 番地	市郡 番地	市郡 番地	市郡 番地	市郡 番地	
7	整理番号*						
8	井戸の番号	堂庭1号					
9	新設・変更・既設の別	既設					
10	ア 地表面からの深さ	20 m	m	m	m	m	
	イ 地表面からのストレーナーの位置	14m~19.5m	m~ m	m~ m	m~ m	m~ m	
	ウ 口径	300 mm	mm	mm	mm	mm	
11 揚水機 の 構造	エ 種類	渦巻きポンプ					
	オ 製造会社名	〇〇〇					
	カ 能力	1.25 m ³ /分	m ³ /分	m ³ /分	m ³ /分	m ³ /分	
	キ 揚程	11 m	m	m	m	m	
	ク 原動機の出力	3.7 KW	KW	KW	KW	KW	
	ケ 吐出口の口径	100 mm	mm	mm	mm	mm	
	コ 吐出口の断面積	79 cm ²	cm ²	cm ²	cm ²	cm ²	
12 採取量	サ 採取期間	1月~12月	月~ 月	月~ 月	月~ 月	月~ 月	
	シ 最大採取量	0 (900) m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	
	ス 平均採取量	0 (600) m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	
	セ 平均採取時間	0時~24時 休止 時間	時~ 時 時間	時~ 時 時間	時~ 時 時間	時~ 時 時間	
13	着工(予定)年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
14	使用開始(予定)年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
15	用途及び使用量	6 年度		年度		年度	
		工業用水 ア工業用水 0 m ³ /日 イその他用水 m ³ /日 計 0 m ³ /日 上記のうち 回収水 0 (m ³ /日) 差引	工業用水 ア工業用水 m ³ /日 イその他用水 m ³ /日 計 m ³ /日 上記のうち 回収水 (m ³ /日) 差引	工業用水 ア工業用水 m ³ /日 イその他用水 m ³ /日 計 m ³ /日 上記のうち 回収水 (m ³ /日) 差引	工業用水 ア工業用水 m ³ /日 イその他用水 m ³ /日 計 m ³ /日 上記のうち 回収水 (m ³ /日) 差引		

- 備考
- 1 井戸の位置を示す図面(縮尺を明示すること)を添付すること。
 - 2 緊急の場合(消防の用のみに供する場合、又は災害の発生等により必要となった場合)はその理由書を添付すること。
 - 3 変更の場合は、変更前を赤字、変更後を黒字で記入すること。
 - 4 *印欄は、記入しないこと。

3 様式第2号 「井戸工事完了届出書」の記入方法

項 目	記 入 方 法
年 月 日	届出の年月を記入する。日は市町担当課が記入する。
届出者の住所・氏名	届出者の住所と氏名を記入する。 法人等の場合は、その名称及び代表者の氏名を記入する。 届出者名印を押印する。
年月日付届出～	先に提出した新設・代替・変更等に係る井戸の届出年月日を記入する。
受理年月日 ※	※欄は記入しない。
井戸の所在地	揚水設備を設置した所在地を記入する。
整理番号	記入しない。
井戸番号	所在地が1箇所なら1号、2号、3号・・・ 所在地が複数箇所なら大字の後に番号をつける。 例えば本町1号、本町2号、大手町1号、大手町2号等
完了年月日	揚水設備工事の完了した年月日を記入する。

記入例

井戸工事完了届出書

平成〇年〇月 日

黄瀬川地域地下水利用対策協議会長 様

届出者住所 沼津市御幸町16-1
 株式会社 環境保全
 氏名 代表取締役 黄瀬川 太郎 ㊟
 (法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

平成〇年〇月〇日付届出に係る井戸の工事が終了したので、黄瀬川地域地下水利用対策協議会規約第10条第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

受理年月日※ 年 月 日					
井戸の所在地	沼津市御幸町 郡 16-1番地	市町 郡 番地	市町 郡 番地	市町 郡 番地	市町 郡 番地
整理番号					
井戸の番号	1号				
完了年月日	〇年〇月〇日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

備考 ※印欄は、記入しないこと。

4 様式第3号 「氏名等変更届出書」の記入方法

項 目	記 入 方 法
年 月 日	届出の年月を記入する。日は市町担当課が記入する。
届出者の住所・氏名	届出者（承継者）の住所と氏名を記入する。 法人等の場合は、その名称及び代表者の氏名を記入する。 届出者名印を押印する。
受理年月日 ※	※欄は記入しない。
井戸の所在地	揚水設備を所有または借地等で使用している井戸の所在地を記入する。
整理番号	記入しない。
井戸番号	所在地が1箇所なら1号、2号、3号・・・ 所在地が複数箇所なら大字の後に番号をつける。 例えば本町1号、本町2号、大手町1号、大手町2号等
変更の内容	届出者の住所や住居表示、名称、法人等の代表者、電話番号、借地や土地の売買による承継等、変更前と変更後の変更内容を記入する。
変更の理由	変更となった理由を記入する。

氏名等変更届出書

平成〇年〇月 日

黄瀬川地域地下水利用対策協議会長 様

届出者住所 沼津市御幸町 16-1
 株式会社 環境保全
 氏名 代表取締役 黄瀬川太郎 ㊟
 (法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

氏名(名称,住所)を変更したので、黄瀬川地域地下水利用対策協議会規約
 第10条第4項の規定により、次のとおり届け出ます。

		受理年月日※		年 月 日	
井戸の所在地	沼津市御幸町 郡 16-1 番地	市 町 郡 番地	市 町 郡 番地	市 町 郡 番地	市 町 郡 番地
整理番号					
井戸の番号	1号				
変更の内容	変更前	株式会社 公害対策	変更後	株式会社 環境保全	
変更の理由	〇年〇月〇日付 社名変更による				

備考 ※印欄は、記入しないこと。